

緊急時対応訓練を実施

シアン化合物による食中毒発生を想定したシナリオを用いて、実践的な訓練を行いました

他省庁を含めた組織的な流れを確認

2014年12月25日、シアン化合物による食中毒発生を想定した、緊急時対応訓練を実施しました。

この訓練は、緊急時における他省庁を含めた組織的な対応の流れを確認することで、組織全体の対応能力と、緊急時対応マニュアル等の実効性の向上を目的としたものです。

食品安全委員会ではこれまでに、緊急時対応の手順、役割や、ホームページ掲載、メディア対応などの実務研修を年間を通して実施してきており、今回の訓練では、実務研修等によって習得した緊急時の初動対応等の技術・知識レベルの確認をしました。

科学的知見を収集、整理して公表

今回の訓練は消費者庁が企画の中心となり、食品安全委員会、消費者庁、厚生労働省及び農林水産省の4



▲ゼッケンをつけた訓練参加者が情報を収集、整理

府省庁合同で行い、各府省庁間の連絡体制の確認や総括官会議*の開催、合同記者会見の試行等も行いました。

訓練で用いた仮想シナリオについては、下に概要を示しました。今回の緊急時対応訓練では、具体的な危害要因名を含め、シナリオを前もって提示することなく、事案が発生してから資料を作成するなどの実践的な訓練を行いました。シナリオの内容は、外部からの問い合わせのパターンを多様にするなど、より現実的な想定を組み入れました。

当委員会では、危害についての科

学的知見などの情報を収集、整理し、事態の進展に応じて情報を公開するためのプレスリリース文書の作成などを行いました。

当委員会では、この訓練を通じて明らかになった課題、特にリスク評価機関としての役割に即した情報発信力の強化について検証し、緊急事態の対処体制の一層の強化に努めています。

なお、2014年度の緊急時対応訓練の実施結果と2015年度の緊急時対応訓練計画については、ホームページ(下記URL)で公表しています。

【訓練で用いた仮想シナリオの概要】

訓練

- 1 危害因子
シアン化合物(化学物質)
- 2 原因食品
D県工場で製造されたサラダ
- 3 状況設定
 - 9:30 : 厚生労働省から、複数県において食中毒の重篤患者が発生(原因物質調査中)との連絡
 - 10:10 : 厚生労働省から、原因物質の情報(シアン化合物)について情報提供
 - 11:00 : 製造業者による自主回収の公表
 - 11:10 : 厚生労働省及びD県によるプレスリリース
 - 13:25 : 食品安全委員会からプレスリリース発出
 - 13:30 : 総括官会議開催(於:消費者庁)
 - 14:30 : 合同記者会見の実施(於:消費者庁)
 - 随時 : 食品安全委員会に、国民や報道機関、議員事務所からの問い合わせが相次ぐ

*総括官会議

消費者の生命又は身体への被害の発生・拡大を防止し、その安全を確保するため、消費者庁及び関係省庁の局長級を消費者安全情報総括官として選定し、これらの者による連絡会議(消費者安全情報総括官会議)の開催等により、消費者の生命又は身体に生ずる被害に関する情報等の集約、共有を図っています。



第548回 食品安全委員会

・資料1-4:平成26年度食品安全委員会緊急時対応訓練実施結果報告書
・資料1-5:平成27年度食品安全委員会緊急時対応訓練計画(案)

<http://www.fsc.go.jp/fscis/meetingMaterial/show/kai20150210sfc>